

平成 30 年度ユーパロ幼稚園運営基本方針

1 教育目標

創造性にあふれ、心豊かな子どもになるように

- (1) 元気で、明るい子
- (2) がまん強く、がんばる子
- (3) 仲良く、思いやりのある子

2 幼稚園修了までに育てていく園児の姿

① 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かい心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活をつくりだせるようにする。

② 自律心

身近な環境に主体的に関わり、様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

③ 協調性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したり、充実感をもってやり遂げるようになる。

④ 徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや悪いことがわかり、自分の行動を振り返ったり、友だちの気持ちに共感したり、相手の立場に立って行動するようになる。また、決まりを守る必要性がわかり、自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いを付けながら、決まりをつくったり、守ったりするようになる。

⑤ 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちを持つとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみを持つようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

⑥ 考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友だちの様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる。

⑦ 自然との関わり・命の大切さ

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや

尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることが大切になる。

⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気づいたりし、自らの必要感に基づき、これらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる。

⑨ 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

⑩ 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる。

3 本年度の重点目標

- (1) 安心・安全で園児が楽しく過ごせる環境づくり
- (2) 健康な心と体を育む保育の推進
- (3) 自立心、協調性、道徳性を育む保育の推進

4 上記を実現するための具体策

(1) 安心・安全で園児が楽しく過ごせる幼稚園づくり

- ① 園だより、クラス便り、お手紙などを活用した積極的な情報公開
- ② 施設・設備の不断の安全点検と事故防止対策の充実
- ③ 家庭や地域と連携した防災・防犯教育など危機管理体制の充実
- ④ 日常的な園内美化や衛生管理の徹底

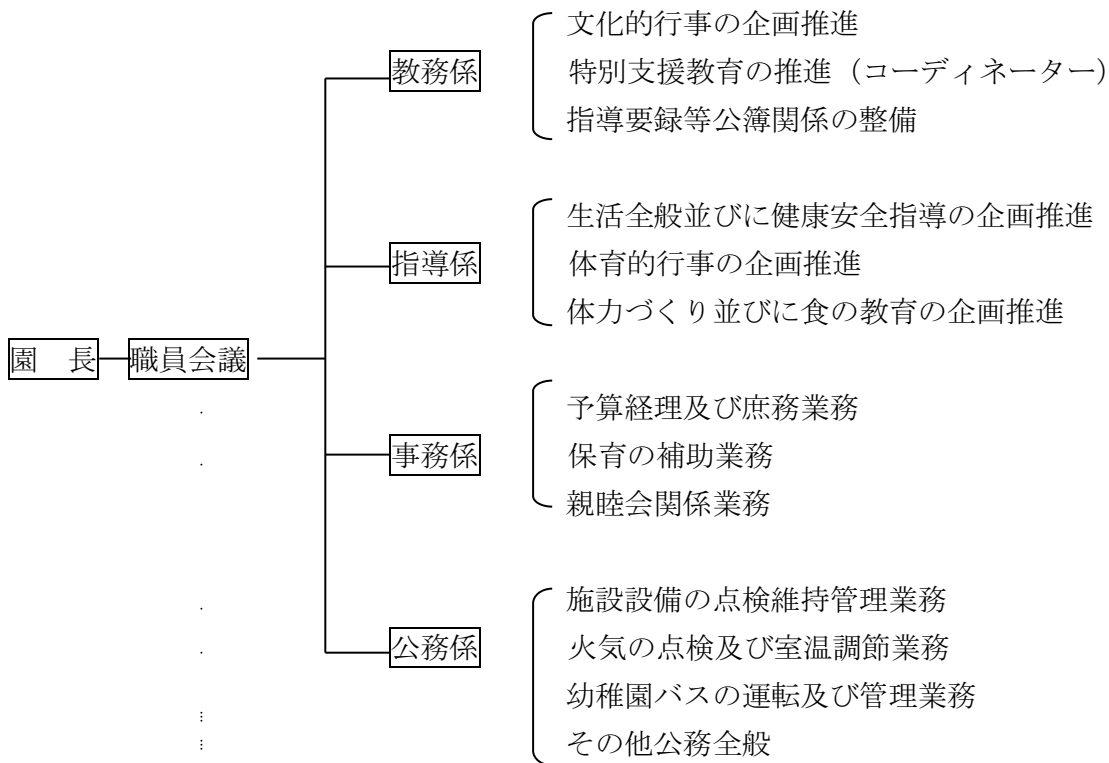
(2) 健康な心と体を育む教育の推進

- ① 「食べることは生きること」と位置付け、野菜の植え付け、観察、収穫、調理試食を一貫して体験できる食の教育の充実
- ② 関係機関と連携した様々な運動教室の開催
- ③ 自由遊びを発展させながら、四季折々のお散歩、縄跳び、跳び箱、ルールのあるゲームなど運動習慣の定着と体幹を鍛える遊びの充実

(3) 自律心、協調性、道徳性を育む保育の推進

- ① 「やらせる」のではなく「やろう」とする気持ちを引き出す保育環境づくり子ども一人ひとりを丁寧に受け止め、自分の思いを言葉で伝える場面、考えられる場面を大切に
- ② 各クラスの合同保育をとおり、異なる年齢の子どもが遊びを通じ、自分を認め他を認めていく中で思いやりの心を育てる
- ③ 発表会などの行事を通じ、協力してやり遂げる喜び、自信、協調性の大切さを伝える。

組織図



父母と先生の会 — 役員会議（事務局長及び会計は園長兼務）

教育課程年間計画 (1) 年少児【3歳児】 発達課題 : 教師や友達に親しみ、みんなで一緒に過ごすことを楽しめるようにする。

学期	1学期		2学期		3学期				
月	4月・5月	6月・7月	8月・9月・10月	11月・12月	1月・2月・3月				
押え	幼稚園生活に慣れる時期		友だちと一緒の生活が楽しくなる時期		友だち関係を深める時期	生活への安定感を持って遊びに熱中し、一人一人が充実して生活する時期			
発達の段階	(第1期) ・教師と触れ合うこと で、安定していく	(第2期) ・安心できる場で、周りの遊具や園児の動きに興味を持ち、関わっていく	(第3期) ・安定できる場が次第に広がり、遊びに変化が見られるようになる	(第4期) ・幼稚園生活のリズムを取り戻していく	(第5期) ・遊びの範囲が広がり、友だちのいる場所で自分の遊びを進めていくようになる	(第6期) ・自分のやることに自信がもてるようになると共に、友だちとの仲間意識が芽生えていく	(第7期) ・自分の意図することを、その時期の状況によって見られるようになり、自変えながら、友だちと実際に表現できるようにする	(第8期) ・自分の意図することを、その時期の状況によって見られるようになり、自変えながら、友だちと実際に表現できるようにする	(第9期) ・自分の意図することを、その時期の状況によって見られるようになり、自変えながら、友だちと実際に表現できるようにする
ねらい	・教師や友だちに親しみを持ち、喜んで登園する。 ・自分の好きな物や場所で遊びながら、次第に安定し園生活に慣れる。 ・ことばや態度で自分の意思を伝える	・友達や教師と好きな遊びを楽しむ。 ・遊びや生活にはルールがあることを知り、守ろうとする。 ・屋外でのびのびと遊ぶことを楽しみ、興味や関心を広げる。	・園生活のリズムを取り戻し、友だちや教師と一緒に遊びを楽しむ。 ・同じ遊びの中で、友だちとの会話を楽しむ。 ・身近な自然に触れて楽しむ。	・冬の生活習慣など必要な事を知り、自分で取り組もうとする。 ・自然の変化に興味を持つ。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさに気づき、関わり合いを楽しむ。	・いろいろな事柄に興味を持ち、自分の思いを出しながら、友達や教師と一緒に活動することを楽しむ。 ・冬の遊びを十分に楽しむ。 ・大きくなった喜びを感じ、進級に期待を持って生活する。				
内容	(健康) 自分が教師に十分受け入れられていると感じ、安心感や信頼感を持つ。 (健康) 簡単な身の回りの始末を少しずつ自分でしようとする。 (人・表現) 友達と過ごすことに喜びを感じ、好きな遊びを楽しむ。 (人) 園生活の流れや決まりを知り、少しずつ自分でしようとする。 (環境) 好きな場所や遊具を見つけ、安心して遊ぶ。 (人・言語) 友だちとの遊びの中で、自分の思いと友達の思いが違うことを知る。	(人) 好きな遊びを見つけ、喜んで遊ぶ。 (人) 遊びや生活のルールを知り、守ろうとしたり、自分で出来ることは自分でしようとする。 (人・言語) 友達や教師と関わりながら遊びを楽しみ、安心して過ごす。 (健康・表現) 行事に向けて楽しんで取り組み、興味を持つ。 (環境) 夏の遊びを十分に楽しみ、開放感や充実感を味わう。	(人) 好きな遊びを見つけ、安定して過ごす。 (人) 友達と同じ遊びや集団遊びをすることに喜びを感じる。 (人・言) 年中児、年長児がしている遊びに興味を持ち、一緒に遊んだり、真似たりする。 (環境・健康) 伸び伸びと体を動かして遊び、様々な事象や生き物に気づき接していく。 (環境・表現) 落ち葉や、木の実など自然の素材に親しみながら遊ぶ。	(健康) 衣服の脱着や、「うがい・手洗い」の大切さを知り、自分で取り組もうとする。 (表現・言語) 友達と一緒に遊んだり踊ったり、作ったりする中で表現しながら楽しむ。 (人) 遊びの中で思いを出し合い、相手の思いを聞き入れようとする。 (環境) 季節の変化に気づきながら、体を動かして遊ぶ。	(人・言・環・健) これまでの経験を生かし、イメージを広げたり、周りの友達の遊びに興味を持ったりしながら遊びを楽しむ。 (人) 友達との遊びの中で、様々な感情体験を繰り返して友達の思いに気づくようになる。 (健康) 自信を持って伸び伸び行動し、進級に向けての期待を膨らませていく。 (健康) 雪や氷など冬の自然に触れ、寒さに負けず元気に遊ぶ。				
◎環境◎援助	◎安心して遊べるコーナーや、体を動かせる遊具を用意したり、音楽をかけたりして、好きな遊びを見つけられるよう工夫する。 ◎教師も一緒に遊びに加わり、楽しさを共感したり、好きな遊びを探ったりしていく。 ◎生活の流れを一緒に確認しながら、自分で出来るようになってきた所を認め、自信につなげていく。 ◎園生活に不安のある園児には、寄り添って安定していけるように配慮する。	◎季節を感じられる遊びを取り入れられるよう、気付かせたり、必要な用具を用意していく。 ◎行事に向けて、事前に絵本などで分かり易く伝えていく。 ◎自分の思いを率直に出し合えるような雰囲気をつくっていく。 ◎季節を取り入れた遊びでは、不安を感じる園児がないか事前に家庭と連携を取り楽しんで参加していくようにする。 ◎大きな行事に向け興味を持ち、楽しみながら友達と共に参加できるようにする。	◎一学期にしていた遊びを設定し、安定して園生活のリズムを取り戻していくようにする。 ◎友達と同じ遊びを楽しめるように、集団遊び等を取り入れていく。 ◎久しぶりの登園で不安を感じる園児がいたら、したい遊びを見つけ、一緒に楽しみながら生活のリズムを取り戻せるようにする。 ◎友達の良さを言葉に出して周囲に伝えながら、認め合って遊びを楽しめるようにする。 ◎季節の変化に気付けるよう言葉がけしていく。	◎集団遊びなどを取り入れ、年長の友達とみんなで一つの遊びをして楽しめるようにしていく。 ◎季節の変化に気づき、遊びに取り入れて楽しめるようにしていく。 ◎身の回りのことを自分でしようとしている姿を認め、自信につなげていく。 ◎トラブルが起きた時は、子どもたちの様子を見守りながら、自分の思いを伝え、友だちの思いを聞くことが出来るよう援助していく。	◎これまで楽しんでいた遊びに必要な素材を用意し、幼児なりに遊びを振り返ったり、発展させていけるようにしていく。 ◎季節の遊びが楽しめるよう、必要な用具を用意していく。 ◎進級に向けて期待感が膨らむよう、共同制作などを工夫する。 ◎仲間意識が強まるよう、また進級に向けて自信が深まるよう、一人一人の良さをみんなが感じられるように、話をしたり認めたりする。 ◎頑張ろうとする姿を認め励ましていく。				

教育課程年間計画 (2)

年中児【4歳児】 発達課題 : 集団の中で伸び伸びと活動し、友だちと一緒に楽しく遊べるようにすること。

学期	1学期		2学期		3学期				
月	4月・5月	6月・7月	8月・9月・10月	11月・12月	1月・2月・3月				
押え	環境に親しみ、生活が安定する時期		活動に広がりが出る時期		楽しさを知り、自己を発揮していく時期	意欲的に活動する時期	個々に充実した活動を展開し、友だちとの関わりを深めていく時期		
発達段階	(第1期) ・年中児としての生活の流れを把握し、好きな遊びを楽しみながら安定していく	(第2期) ・自分から積極的に様々なことに取り組み、遊びの場を広げていく	(第3期) ・友達との遊びの楽しさを知り、遊びを広げていく	(第4期) ・幼稚園生活の流れを取り戻していく	(第5期) ・みんなの中で、自分なりに動けることに満足感を持てるようにしていく	(第6期) ・自分なりに意図をもって遊びに取り組み、その遊びを楽しめるようにしていく ・皆の動きが見えてきて、自分なりの目的を持って遊びを楽しむ	(第7期) ・クラスの中にそれぞれの子の存在が位置づくようにすると共に、友だちに向けて個々の力を伸ばし、目的を共有して遊べるようにしていく	(第8期) ・進級に向けての期待感を出しながら、目的に向けて個々の力を伸ばし、目的を共有して遊べるようにしていく	(第9期)
ねらい	・新しい環境に慣れて、教師や友だちと安心して過ごす。 ・好きな遊びを見つけ、教師や友達と楽しんで遊ぶ。 ・身近な自然に触れて遊ぶ。	・みんなで一つになって活動することや、体を動かす喜びを感じる。 ・好きな遊びを通して、友だちや教師と触れ合うことを楽しむ。 ・夏の遊びを思い切り楽しむ。	・自分の思いを出しながら、友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・身近な自然に興味関心を持つ。	・自分なりに表現しながら、みんなで取り組む楽しさを味わう。 ・友達と思いや考えを出しながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。	・自分の思いを伝えたり、友だちの思いに気付いたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・冬の自然現象に興味を持ち、冬ならではの遊びを楽しむ。 ・年長組になる事に期待を持って、色々な活動に意欲的に取り組む。				
内容	(環境) 園生活に必要なことを再認識し、自分から進んで環境に親しむ。 (人) 教師や友達と一緒にいることに楽しさを感じたり、好きな遊びを楽しんだりする。 (健康・環境・表現) 屋外での遊びを楽しみながら、身近な自然に興味を持ち、遊びに取り入れていく。 (人・言語) 自分の思いを、色々な方法で伝えようとする。	(健康・人) 友だちや教師と一緒に走ったり跳ったりして、体を動かす楽しさを味わう。 (人・表現) 友だちのしている遊びに興味を持ったり、真似たりして一緒に遊びを楽しむ。 (環・人) 水や砂、泥などの感触を楽しみながら、友だちや教師と一緒に遊ぶ。 (環境) プール遊びを通して水に親しみ、開放感を味わう。 (人・言語) して欲しいことや困ったこと等を、教師に伝えたり自分で解決しようとする。	(人・言語) 自分の思いや考えを出したり、友だちの思いを聞いたりしながら楽しく遊ぶ。 (人) 興味のある遊びに進んで取り組み、友だちとの関わりを楽しむ。 (環境・健康) 季節の変化を感じながら、屋外で伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 (環境・表現) 身近な自然物を、遊びに取り入れながら楽しむ。	(表現) 様々な事に興味を持ち、自分から楽しんで取り組む。 (表・言) 自分の役割を意識し、自信を持って伸び伸びと表現する。 (人・言) 友だちと遊ぶ中で、思いを出し合いながら遊びを広げる。 (言・表) 自分の思いを言葉や動きで表現し、試したり工夫したりして楽しむ。 (人) 友だちと一緒にルールのある遊びを楽しむ。 (健・環・表) 寒さに負けず伸び伸びと体を動かしたり、年末の行事を楽しむ。	(人・言) 友達と思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊びを進める。 (健・人) 友だちと一緒にルールのある遊びや体を動かす遊びを楽しむ。 (環・表) 雪や氷に触れながら、冬の遊びを楽しむ。 (人・言・表) 卒園式の準備などで、考えを出し合いながら活動する。 (人・表) 友達と一緒に試したり工夫したりしながら、一つのことをやり遂げる喜びを知る。 (言・表) 年長組に進級する喜びを、言葉で伝えたり、色々な遊びの中で表現したりする。				
◎環境◎援助	◎新学期の喜びを感じられるよう、また、季節感を味わえるよう、教室の飾りつけなどの工夫をする。 ○園児一人一人を温かく受け止め、触れ合いを多く持ちながら、信頼関係を築いていく。 ○新学期に向けて嬉しい気持ち、意欲的な気持ちを十分に受け止めていく。 ○教師や友達と触れ合って遊ぶ楽しさを感じられるように、集団遊びなど多くの人と楽しむ機会をつくる。	◎行事や砂遊び、水遊びに必要な用具を用意する。 ◎運動会の練習が負担とならないよう、遊びの時間を多くとるようにする。 ○遊んだ後の片付けもできるような声をかけたり一緒にしたりして、片付けの大事さを気付かせる。 ○教師も一緒に遊びに加わる中で、友だちとの関わりをつなげたり、思いや考えを引き出していく。 ○水遊びに不安を感じる子には、教師と一緒に遊び不安を解消する。	◎発表会に向け、園児のイメージが広がるような用具、CD、楽器など、色々な素材を用意する。 ◎季節を感じながら遊べるよう、水遊び道具を用意したり、屋外保育やお散歩に行ったりする。 ○園児の遊びが広がるように、一人一人の声をくみ取り、遊びを実現させたり、園児の発見や驚きに共感したりしていく。 ○クラスの人々と遊ぶ楽しさを感じ、友だちと関わる事が出来るような遊びを取り入れて、のびのびと遊ぶことで満足感を味わえるようにしていく。 ○発表会のイメージを広げられるよう時間を十分に取り、余裕を持って取り組めるようにする。	◎幼児のイメージが広がるような用具、CD、楽器などを用意する。 ◎年末の行事に向け、教室を飾ったり絵本や紙芝居を見せる。 ○一所懸命な姿を認め、自信につながるようにする。 ○トラブルが起きた時は双方の言い分を聞き、自分たちで解決できるよう導いたり、周囲の声を聴いたりしていく。また、相手の気持ちにも気づくことが出来るようにしていく。 ○冬の遊びや行事を知らせ、園児の気付きや感動に共感する。	◎友だちと一緒にしたい遊びができるよう、用具や素材を用意したり、場所や時間を確保する。 ◎進級に向け自信や期待感があるよう、一人一人の成長を振り返る時間を持ちながら、発表したり制作に取り組んだりできるようにする。 ◎一人一人の園児の思いを受け止め、共感し、安心して自分の思いを出せるようにする。 ○園児の遊びのイメージから、色々な素材を用意し、友だちと一緒に作ってみよう、遊んでみよう、という気持ちがあるようにする。 ○一人一人の成長を認め、周りに知らせながら、年長組になることへの自信を持つことが出来るようにする。				

教育課程年間計画 (3)

年長児【5歳児】

発達課題 : 友だちと一緒に思いや考えを出し合いながら、共に遊びや生活を進めていけるようにすること。

学期	1学期		2学期		3学期		
月	4月・5月	6月・7月	8月・9月・10月	11月・12月	1月・2月・3月		
押え	環境に適応しながら安定していく時期	友だち関係・生活けいけんを広げ、深めていく時期	興味の持てることに夢中になり、遊んで友達と取り組もうとする時期	共通の目的に向かい、力を発揮するようになる時期	就学する事への期待感を持ち、考えて行動したり活動したりする時期		
発達の段階	(第1期) ・年長児としての生活を軌道に乗せる	(第2期) ・自分から積極的に様々なことに取り組み、遊びの場を広げていこうとする	(第3期) ・友達との遊びの楽しさを知り、遊びの幅を広げ展開する	(第4期) ・幼稚園生活の流れを取り戻していく	(第5期) ・みんなの中で、自分なりに活動することに満足感を持てるようにしていく	(第6期) ・自分なりに意図をもって遊びに取り組み、その遊びを楽しめるようにしていく ・皆の動きが見えてくると共に、自分なりの目的に向け遊びを楽しむ	(第7期) ・クラスの中にそれぞれ ・進級に向けての期待の幼児の存在が位置づくを引出しながら、目的にようにすると共に、友だち 向けて個々の力を伸ばすと目的を共有して遊べる していけるようにする ようにしていく時期
ねらい	・年長児になった喜びを感じ、活動に意欲的に取り組もうとする。 ・友達と積極的に関わり遊びを楽しむ。 ・自然に親しみ興味関心を持つ。	・友達と共通の目的を持って遊びを進めたり、運動会などの行事に向かって取り組んでいこうとする。 ・友だちと一緒に十分に体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ・目的を持って試したり、工夫したりしながら遊びを楽しむ。	・友だちとの思いや考えを伝え合いながら、遊びを楽しむ。 ・共通の目的を持ってクラス全体やグループ活動に取り組む、個々の良さを発揮する。 ・自然に興味関心をもって関わる。	・学級全体の目標に向かい、協力して取り組むことの楽しさを味わう。 ・友達と一緒に遊びや活動を進めていくことの楽しさを味わう。 ・自然の変化に興味関心を持つ。	・友だちとの遊びを十分に楽しんで仲間意識を深める。 ・様々な活動に目的を持ち、協力して活動を進めていく。 ・卒園や就学に期待と喜びを持つ。		
内容	(健・言) 自分たちで考えを出し合っ必要なることを決めたり準備したりする。 (健・人) 身の回りのことなど生活の中で出来ることは自分から進んでしようとする。 (健康) 友だちと好きな遊びをしたり、クラスの仲間と集団遊びやゲームを楽しんだりする。 (健) 伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 (環境) 自然に触れて遊びに取り入れたり、分からないことを図書などで調べたりして興味を深める。	(言・人) 自分の考えを言葉で伝え、友だちの考えも受け止めながら、みんなで力を合わせて取り組む楽しさを味わう。 (健・人) 行事にみんなで参加し、仲間意識を高めていく。 (健・表現) 友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 (環・表) 夏の遊びを楽しみながら、身近な自然物に興味・関心を持ち考えたり試したりする。	(人・言語) 友だちと考えを出しながら、試したり工夫したりして遊びを楽しむ。 (健康) 友だちと一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 (人) 共通の目的に向かって、友だちと力を合わせて役割分担しながら活動を進める。 (環境・表現) 身近な自然物、自然物を使って遊んだり制作したりして楽しむ。 (環境・表現) 自然の変化に気付き、思いや感じたことを色々な形で表現する。 (人・表現) 発表会を通して友だちと一緒に表現する楽しさや、協力で最後までやり遂げる達成感を味わう。	(人・言) 互いの考えを出し合い、友達の思いも受け入れながら遊びを進める楽しさを味わう。 (人・言) 友だちの良さを認め合ったり、励まし合ったりする喜びを味わう。 (環境・健康) 季節の変化を感じながら、のびのびと体を動かして遊ぶ。 (健・人) 友だちと一緒に行事や活動に取り組む中で、自分の力を十分に発揮する。 (健康) 園での生活を振り返り、成長を喜び自信を持って行動する。	(健・人・表) 今まで経験した遊びをみんなで楽しむ。 (健・人・言) 自分で遊びを考えたり勧めたりして、友だちと一緒に遊びを楽しむ。 (健環・環境) 寒さに負けず、友だちと一緒に、冬ならではの遊びを十分に楽しむ。 (健・人) 友だちと一緒に行事や活動に取り組む中で、自分の力を十分に発揮する。 (健康) 園での生活を振り返り、成長を喜び自信を持って行動する。		
◎環境 ◎援助	◎ 友達と一緒に興味を持った遊びが十分楽しめるよう、必要な教材や遊具を用意する。 ◎ 個々の園児がリーダーシップを発揮し、好きな遊びを楽しむ時間を確保する。また、遊びに広がりを持たせるよう教師も一緒に考えたり、きっかけづくりを行う。 ◎ 生活の中で嬉しかった事、困った事などを周囲に知らせ、一緒に喜んだり考える中で、友達の思いに気付き、認め合う事合い仲間意識を高めていく。 ◎ 遊び道具の安全に十分留意する。 ◎ 個々の園児の姿を理解し、感じたことや思いを率直に出せるような言葉かけや援助をする。	◎ 行事に期待をもって取り組んでいけるよう、必要な用具を準備する。 ◎ 夏の遊びが十分に楽しめるような用具を用意し、片付けも自主的にいやすいようにする。 ◎ みんなの気持ちが同じ目的に向かっていけるよう、クラスで話し合い、遊びや活動に取り組む。 ◎ 一人一人の頑張りを認め、楽しんで遊びや活動に参加できるようにする。	◎ 色々な素材を用意し、自分が使いたいものを選び、試したり工夫したりできるようにする。 ◎ 心身を開放し、季節の遊びを楽しめるような場所や時間を確保する。 ◎ 友だち同士認めたり、共感したりしたことをクラス全体に伝え、お互いの信頼関係を深める。 ◎ お互いの思いや考えを出し合いながら遊んでいる姿を認め、周囲にも気づかせる。 ◎ 菜園の収穫を通して、栽培物の成長や収穫の喜びを感じられるようにしていく。 ◎ 自然物を使って色々な遊びをしたり、自然に親しむ中で自然に対する興味関心を深めていけるようにする。	◎ 遊びや活動に必要な物を、みんなで考えて作れるよう、用具や材料を用意する。 ◎ 年末の行事に向け、期待感が膨らむよう、制作したり絵本や紙芝居を見せたりする。 ◎ 一命懸命な姿を受け止め、個々の力が十分に発揮できるよう、励ましたり認めたりしながら自信につなげていく。 ◎ 季節の変化を感じている様子に共感したり、気づかせたりしながら冬ならではの遊びを楽しむ。	◎ 季節の遊びが十分に楽しめるような用具を用意する。 ◎ 就学に期待感が持てるように、共同制作などを行う。 ◎ 活動にゆとりを持ち、園児の一人一人の触れ合いや友達同士の関わりを大切にす。 ◎ 卒園に向けての活動は、子どもたちが主体性を持って取り組んだり、行動していけるようにする。 ◎ 園生活を振り返り、クラス全体や一人一人の成長を認め、喜びと自信につなげていく。		